日本交通心理士会 研究発表支援制度 申込書

2021年7 月20日版

実施しようとする調査の概要を、以下の書式に従い記入してください。

　（※必須）の欄は、必ず記入してください。適宜、行間をご調整ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 項 目 | 内 容 |
| 背景・  研究動機（※必須） |  |
| 目的 |  |
| 方法（※必須）  （何れかに◯印を記す） | 1.アンケート調査　2.観察調査　3.インタビュー調査　4.室内実験  5.公道・テストコース実験　6.その他　7.未定 |
| 調査実施の可能性（※必須）  （何れかに◯印を記す） | 1.すぐに調査できる環境にある　2.調査に際して調整が必要である　3.不明 |
| ステップアップ講習会受講の有無（※必須）  （受講済に◯印を記す） | 1.データ解析　　2.論文の書き方　　3.研究倫理 |
| 発表年度と  発表希望先 |  |
| 希望  スケジュール  （※必須） | 調査の計画 ：  調査の実施 ：  データ解析 ：  発表原稿作成： |
| その他  （希望や懸念点があれば  記入する） |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 性別 |  | 年齢 | 歳 |
| 所属(所在地) |  | | | | |

日本交通心理士会 研究発表支援制度 申込書（記入例）

2021年7月20日版

実施しようとする調査の概要を、以下の書式に従い記入してください。

　（※必須）の欄は、必ず記入してください。適宜、行間をご調整ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 項 目 | 内 容 |
| 背景・  研究動機（※必須） | 歩行者中の事故は7歳児が多く、子どもの交通事故低減のために役立つ研究をしたい。 |
| 目的 | 子どもの横断行動について調査する。 |
| 方法（※必須）  （何れかに◯印を記す） | 1.アンケート調査　2.観察調査　3.インタビュー調査　4.室内実験  5.公道・テストコース実験　6.その他　未定 |
| 調査実施の可能性（※必須）  （何れかに◯印を記す） | 1.すぐに調査できる環境にある　2.調査に際して調整が必要である　不明 |
| ステップアップ講習会受講の有無（※必須）  （受講済に◯印を記す） | 1.データ解析　　論文の書き方　　研究倫理 |
| 発表年度と  発表希望先 | 2021年地区別研究会 |
| 希望  スケジュール  （※必須） | 調査の計画 ： 2020年4月  調査の実施 ： 2020年9月  データ解析 ： 2020年10月  発表原稿作成： 2021年2月 |
| その他  （希望や懸念点があれば  記入する） | ・調査を実施するに際して、上司の許可が必要です。  ・公道実験を実施するにはどのようにすればよいのでしょうか。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 | 交通　心太郎 | 性別 | 男 | 年齢 | 36　　歳 |
| 所属(所在地) | 株式会社　traffic psycho（東京都） | | | | |